

これまで、フランス国内、スイス、イタリアなどに旅行に行きましたが、今月初めて EU 圏外に出たので、出入国や旅行での学びを紹介したいと思います。

今回は、友達がイギリスからフランスに遊びに来たので、友達が帰国する際に私も一緒にイギリスに行くことを決めました。1 週間程度、ロンドン、マンチェスターを經由し、ヨークに滞在しました。

### 出国と交通手段について

今回は、国際列車と飛行機の 2 パターンを試してみました。

行きで使った、ユーロスター（英仏海峡トンネルを通る国際列車）は電車の駅で入国検査がありました。日本のパスポート所有者は自動ゲートを使うことができ、とてもスムーズに入れます。電車の改札を通る時のようなイメージです。改札でパスポートをかざすと、設置されているカメラが顔を認証しゲートが開きます。荷物検査も簡易的なもので液体の持ち込みなども確認がありませんでした。到着後も手続きなどは何もなく、国内の電車を降りたときと同じような感じです。ヨーロッパの旅行はなんて楽ちんなのだろうと思いました。日本からの海外旅行は大きなイベントですが、こちらに住んでいると他県に行くくらいの感覚で行けてしまいます。

セント・パンクラス駅（ロンドン）



帰りは、マンチェスター（イギリス）からパリまでを格安航空券でとり、約 3500 円で帰ってきました。これは私が浜松から実家の石川に帰る値段の半分の値段もしません。浜松から愛知よりも安いのではないのでしょうか。この価格で行けるのであれば何度でも行きたいところですが、やっぱり格安なのにも理由があります。到着する空港がパリ市内から離れていて、交通の便がよくないなのです。空港から私の街（Dijon）に着くまで、バス、地下鉄、電車を乗り継ぎました。そのバスや電車の時間とチケットを探すのも格安を取ったときについてくる使命です。日によって運行しているバスや値段が違うため、どこを經由にすれば一番早くて安いのか様々なチケットサイトを往復して予定をたてました。当日、一番初めの

飛行機が遅れ、すべての時間がギリギリ間に合うかどうかのせめぎわになりました。時間に十分に余裕を取った乗り換えだったのですが、すべての乗り換えをダッシュしなければいけないことに。地下鉄も、乗車時間によってどの経路が一番早いのが変わってきます。グーグルマップとマップを交互に更新して経路を探し、(グーグルマップとマップで教えてくれるバスや地下鉄が違う。フランスでは割とマップの方がトラム経路などが追加されており有能。)最終の電車で何とか間に合いました。実はこの日、寒さと旅の疲れもあり、体調を壊していました。熱で飛行機に乗せてもらえなかったらどうしようとか、一人で辛くなったら、、と考えると一人で帰るのが不安で仕方ありませんでしたが、飛行機の遅延のおかげで心配している暇もなく必死で乗り換えをして帰りました。昔の私であれば、泣いて諦め、帰国を1日遅らせたと思います。しかし、何度も乗り換え経験があったことと、言語への不安がもうあまりないことから行けるという自信がありました。もし間に合ってなかったらと考えるとどうしていたのだろうと自分が心配になりますが、同時に、とても強くなったなと自分の成長を感じました。

#### イギリスの料理はまずいのか。

美食の国といわれるフランスで生活していて、イギリスの料理はまずいと感じるのでしょうか。イギリスに住んでいる友達は、「まずいって言われるけど、全然おいしいからね。」って。実際に行って、正直な感想は、まずくはないけど、美味しくしようとする意識があまりない?という感じです。



初めに一番有名なフィッシュアンドチップスを試しました。ポテトと揚げた魚なので大差はなさそうですが、個人的に、フランスで食べたものの方が好みでした。何が違うのかというと、フランスで食べたときは、ポテトがジャガイモの味がしてカリ、ホク、でドタイプでしたが、イギリスは無でした。もちろんレストランによるものと思いますが、ここは日本語のサイトでも紹介されており、お客さんも賑わっているお店でした。一皿18£で約3000円くらいです。(円安泣)

また、イギリスでは、グルテンフリーやヴィーガンの食品があり、多くのスーパーでグルテンフリーのコーナーが設けられていました。試しにグルテンなしでヴィーガンのショートブレッドとクラッカーを買ってみました。サクサクしていて瞬間的にはおいしいのですが、人工的な味を感じました。比較的価格の低いものだったので、もう少しおいしいものもあったのかなど。それにしても、様々なものがグルテンフリーで置かれており、驚きました。なんとグルテンフリーの小麦粉までありました!

ここまで、あまりおいしくないイギリスの食べ物のお話をしたのですが、美味しいレストランもたくさんあります。



これはスープとサラダとパンのセットで、私はベジタリアンのものを頼みました。サラダの味付けにも様々なスパイスが使われておりとても好みの味でした。また、気づいたことは、カロリーとカテゴリーの表示がとても多いということです。どこに行っても値段の横に必ずカロリー表示がされており、メニューには GF,DF,V,VG,などの略語が表示されていました。(gluten free, dairy free, vegetarian, vegan)

### フランスとイギリスの食文化の違い

一部のレストランとスーパーを比較しての考察になりますが、フランスはビオやオーガニックなどに重点を置き、化学調味料に敏感なのに対し、イギリスはグルテンフリーやベジタリアンへの関心が高くそれに対する化学物質はあまり気にしていないように感じます。また、フランスでは、前菜、メイン、デザートとコースなのが一般的なのに対し、イギリスは一品で食べられるレストランが多いと感じました。

イギリスのどこに行くかや、時期によってまた違った発見があると思うので、また是非行ってみたいです！

### 最後に

イギリスの旅行の話だけで今月のレポートが長くなってしまったのですが、フランスではクリスマスマーケットが始まり、学習面では DELF の口頭試験がありました。DELFL の筆記試験はあと 3 日後にあるので、それも含めまた来月のレポートで紹介できればいいなと思います。